5707

2014年度

決算説明資料

2015年5月12日



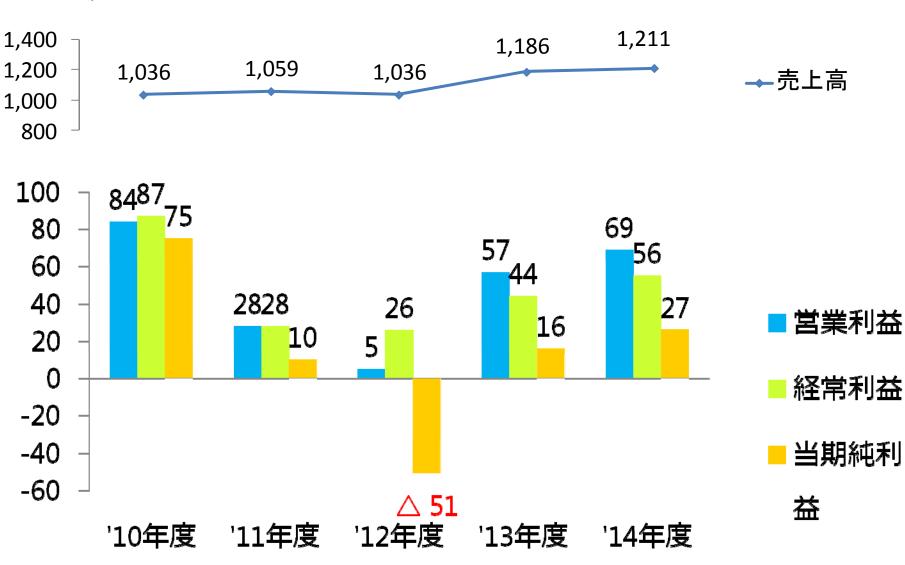
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

内容

I. 2014年度 連結決算概況	
1. 業績の推移	Р3
2. 収支の状況	P4
3. 財務の状況	P12
Ⅱ. 2015年度 連結業績予想	
1. 前年度比較	P17
2. 上期・下期比較	P19
3. 感応度	P20
(参考資料)	
1. 世界の亜鉛・鉛の需給推移	P21
2. 国内の亜鉛・鉛の需給推移	P22
3. メタルの価格と在庫の推移	P23
4. 亜鉛・鉛の鉱石輸入と国内需要	P27
5. 製錬事業の収益構造	P28
6. 製錬業界における当社の位置	P29
7. 主要製品の用途	P31
8. 主要製品の売上の推移	P32

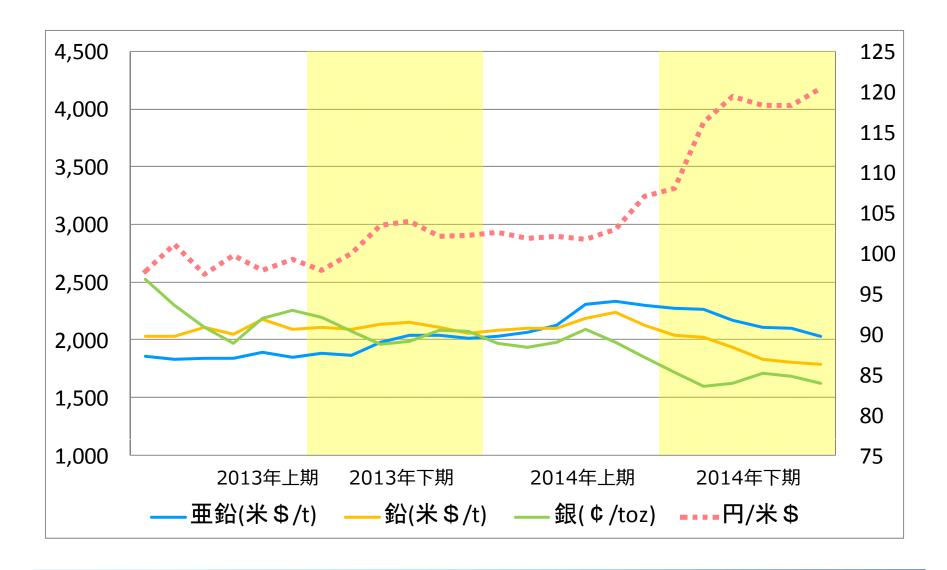
I. 2014年度 連結決算概況

1. 業績の推移



単位:億円

2. 収支の状況(市況推移)



○3月19日の業績修正からの変動

2014年度連結決算においては、その他セグメント(ソフトカーム事業部)で「不適切な経理処理」が発生し、 2億円弱を雑損処理しております。加えて、期末の為替評価損が膨らんだこともあり、経常利益は3億円強 の減益となりました。一方、当期利益はほぼ同水準で着地しました。

○前期比較

売上はほぼ横ばいでありましたが、大幅な円安·亜鉛価格の上昇に加え、 営業·操業面での努力も実を結び、営業利益は11.5億円増益の69.0億円となりました。 経常利益は11.4億円増益の55.7億円、当期利益は10.7億円増益の27.4億円となりました。

(1)公表ベース比較

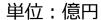
		当初公表	3/19 修正	実績
市況	亜鉛(米\$/t)	2,100	2,174	2,175
	鉛(米\$/t)	2,200	2,022	2,021
	銀(米\$/toz)	20.0	18.1	18.1
	円/米\$	103.0	109.9	109.9
	米\$/豪\$(1~12月)	0.850	0.906	0.906
製錬セグメント	亜鉛製品(千t)	105.6	96.4	99.3
主要製品販売量	鉛製品(千t)	86.9	83.9	86.6
	電気銀(t)	400	401	401
資源セグメント CDU関連(1、12日)	粗鉱処理量(千t)	1,229	1,262	1,262
CBH関連(1~12月)	亜鉛精鉱生産量(千dmt)	122.5	120.2	120.2
	鉛精鉱生産量(千dmt)	67.5	67.0	67.0
収支	売上高(億円)	1,180	1,210	1,211
	営業利益(億円)	68.0	68.0	69.0
	経常利益(億円)	59.0	59.0	55.7
	当期利益(億円)	35.0	27.0	27.4

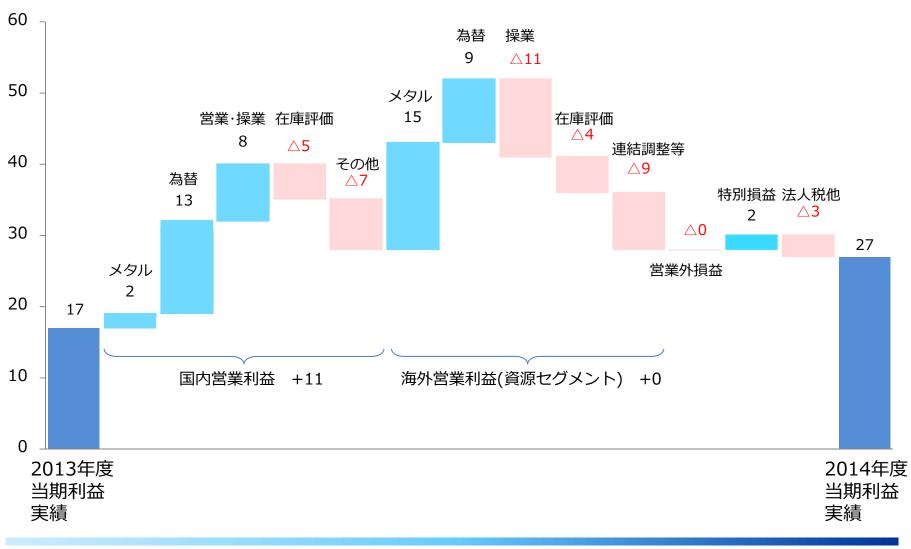
(2)前年度比較(市況·販売·生産量)

			2013年度 実績	2014年度 実績	差(実額)	差(%)
市況	亜鉛(米\$/t)		1,910	2,175	265	14
	鉛(米\$/t)		2,094	2,021	△73	△3
	銀(米\$/toz)		21.4	18.1	△3.3	△15
	円/米\$		100.2	109.9	9.7	10
	米\$/豪\$(1~12月)		0.962	0.906	△0.056	△6
製錬セグメント 主要製品販売量	亜鉛製品(千t)		115.1	99.3	△15.8	△14
	鉛製品(千t)		90.8	86.6	△4.2	△5
	電気銀(t)	ī銀(t)		401	38	10
資源セグメント CBH関連(1~12月)	粗鉱処理量(千t)	エンデバー	718	719	1	0
·		ラスプ	651	543	△108	△17
		計	1,369	1,262	△107	△8
	亜鉛精鉱生産量(千dmt)	エンデバー	90.9	82.2	△8.7	△10
		ラスプ	49.7	37.9	△11.8	△24
		計	140.6	120.2	△20.4	△15
	鉛精鉱生産量(千dmt)	エンデバー	49.4	48.8	△0.6	△1
		ラスプ	26.5	18.2	△8.3	△31
		計	75.9	67.0	△8.9	△12

前年度比較(収支)

		2013年度 実績	2014年度 実績	差(実額)	差(%)
売上高(億円)	製錬	801	813	12	1
	資源	141	189	48	34
	電子部材	68	70	2	4
	環境・リサイクル	49	60	11	22
	その他	127	79	△48	△38
	計	1,186	1,211	25	2
営業利益(億円)	製錬	43.4	51.4	8.0	18
	資源	△16.6	△16.4	0.2	-
	電子部材	10.0	10.5	0.5	5
	環境・リサイクル	9.6	17.2	7.6	79
	その他	10.8	7.4	△3.3	△31
	計	57.5	69.0	11.5	20
経常利益(億円)		44.3	55.7	11.4	26
当期利益(億円)		16.7	27.4	10.7	64





(3)四半期単位比較

2	014年度	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
売上高(億円)		283	320	298	310	1,211
営業利益(億円)	製錬	6.8	20.4	18.5	5.7	51.4
	資源	△9.2	△3.4	△0.7	△3.1	△16.4
	電子部材	2.8	2.5	2.8	2.4	10.5
	環境・リサイクル	4.6	3.1	5.7	3.7	17.2
	その他	2.0	1.8	2.1	1.5	7.4
	計	7.1	24.7	27.0	10.2	69.0
	(内、在庫評価損益) (含むヘッジ・低価法)	(3.8)	(14.5)	(6.6)	(△2.1)	(22.8)
経常利益(億円)		10.0	25.5	23.7	△3.6	55.7
当期利益(億円)		3.3	15.6	11.5	△3.0	27.4

(ご参考)2013年度

2013年度	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
売上高(億円)	289	307	303	287	1,186
営業利益(億円)	△10.8	30.6	13.7	24.0	57.5
経常利益(億円)	△14.8	20.0	17.1	22.0	44.3
当期利益(億円)	△12.9	8.0	8.6	13.0	16.7

(4)資源セグメントの概況

当初公表ベース比△19.9億円

⇒内、CBH社営業利益△26.7億円(内、メタル下ブレ・豪\$高による市況等他律要因△14億円弱)

①エンデバー鉱山

公表ベース比△1.6億円(内、市況等他律要因△9億円)

他律要因除くと公表ベース比増益→粗鉱品位、歩留まり、精鉱品位、全て公表ベース達成。

②ラスプ鉱山

公表ベース比△26.4億円(内、市況等他律要因△5億円弱)

2013年10月から15カ月に渡る7割操業体制は2014年12月末に終了。この期間は、2015年からの高品位鉱生 産に向け最適操業態勢を構築する一方、低品位鉱のみの生産であったため、粗鉱品位が大幅未達、銀の歩留 まり・精鉱品位も大幅未達となり、大幅未達に。

③連結調整他

公表ベース比+6.8億円(内、決算期ずれ調整+1億円弱)

本社経由の外販の増益等寄与。

利益(億円)		当初公表ベース	2014年度実績	差(実額)
CBH社営業利益	エンデバー鉱山	10.4	8.8	△1.6
	ラスプ鉱山	5.9	△20.5	△26.4
	その他	△0	1.2	1.3
	≣†	16.2	△10.5	△26.7
*連結調整他		△12.7	△5.9	6.8
資源セグメント利益		3.5	△16.4	△19.9

^{*}連結調整他:親子間決算期ずれ調整等

前期比若干の改善(ただし引き続き赤字)

⇒内、CBH社営業利益+9.7億円(内、豪\$安・亜鉛価格上昇による市況等他律要因+19億円強)

①エンデバー鉱山

前期比+5.7億円(内、市況等他律要因+14億円強)

他律要因除くと前期比減益→特に銀・亜鉛の粗鉱品位が前期比悪化。

②ラスプ鉱山

前期比+2.5億円(内、市況等他律要因+5億円)

他律要因除くと前期比減益→特に鉛・亜鉛の粗鉱品位が前期比悪化。

③連結調整他

前期比△9.5億円(内、決算期ずれ調整△8億円弱)

前期は2013年1-3月(減算月)に採算の相対的に悪い亜鉛出荷があったため、前期の決算期ずれ調整は減算 分増益に。当期は2014年1-3月(減算月)、2015年1-3月(加算月)に差異なかったため、ほぼニュートラル に。

利:	益(億円)	2013年度実績	2014年度実績	差(実額)
CBH社営業利益	エンデバー鉱山	3.1	8.8	5.7
	ラスプ鉱山	△22.9	△20.5	2.5
	その他	△0.3	1.2	1.6
	計	△20.2	△10.5	9.7
*連結調整他		3.5	△5.9	△9.5
資源セグメント利益		△16.6	△16.4	0.2

^{*}連結調整他:親子間決算期ずれ調整等

3. 財務の状況

(1)貸借対照表(資産の部)

			2014年3月末 実績	2015年 3 月末 実績	差(実額)
流動資産	現金·預金		115	86	△29
	受取手形·売掛金		136	160	24
	たな卸資産		349	431	82
	その他		25	25	0
	≣†		625	702	77
固定資産	有形固定資産		520	501	△19
		内CBH関係 (豪 \$ 百万表示)	166 (172)	154 (157)	△12 (△15)
	無形固定資産		244	255	11
	内CBH関係 (豪 \$ 百万表示)	238 (257)	252 (257)	14 (0)	
	投資その他		61	62	1
	ā†		825	818	△7
資産 合計			1,450	1,520	70

単位:億円

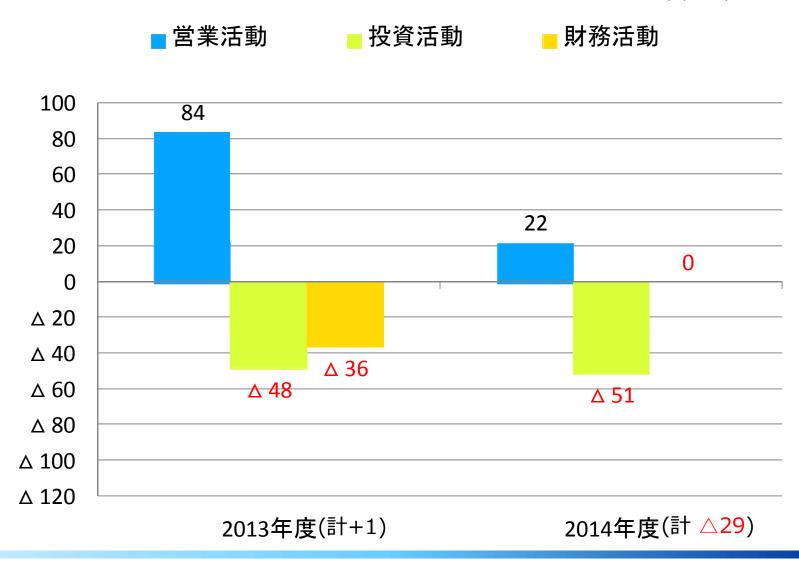
			2014年 3 月末 実績	2015年3月末 実績	差(実額)
負債の部	支払手形·買掛金		71	67	△4
	借入金	СР	0	60	60
		短期	225	169	△56
		長期	384	401	17
		借入金 計	609	630	21
	その他負債		173	178	5
	計		852	874	22
純資産の部	株主資本	資本金	146	146	0
		資本剰余金·自己株式	99	99	0
		利益剰余金	227	252	25
		株主資本 計	472	497	25
	その他包括利益累計額		126	148	22
	計		598	645	47
負債·純資産合語	t		1,450	1,520	70

(2)主要財務指標の変化

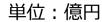
	2013年度末		2014年度末
自己資本比率	41.2%		42.5%
D/Eレシオ	1.0倍	>	1.0倍
当期純利益/自己資本 (ROE)	2.9%		4.4%
当期純利益/売上高	1.4%		2.3%
売上高/総資産	0.8回転		0.8回転
総資産/自己資本	2.5倍		2.4倍

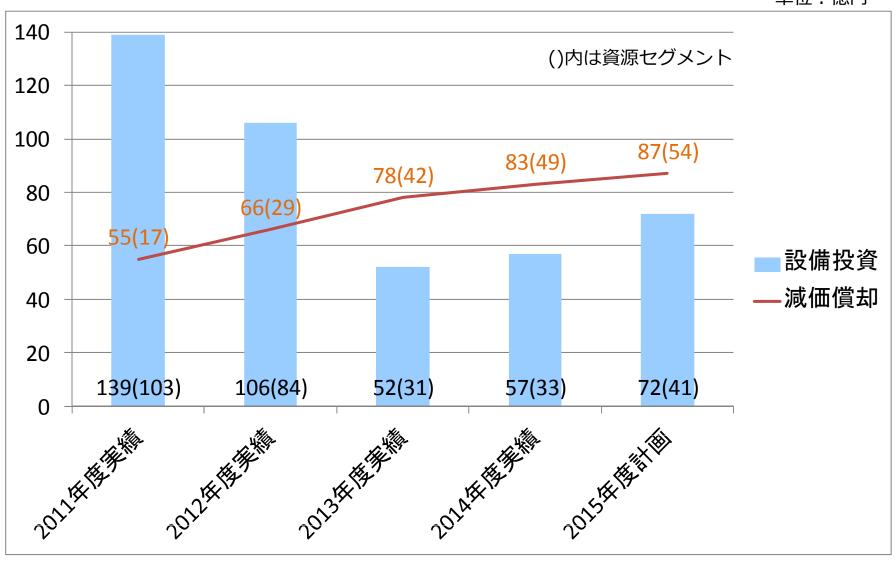
(3) キャッシュ・フローの推移

単位:億円



(4) 設備投資・減価償却の推移





Ⅱ.2015年度 連結業績予想 1.前年度比較(市況·販売·生産量)

			2014年度 実績	2015年度 目標	差(実額)	差(%)
市況	亜鉛(米\$/t)		2,175	2,300	125	6
	鉛(米\$/t)		2,021	2,000	△21	△1
	銀(米\$/toz)		18.1	17.0	△1.1	△6
	円/米\$		109.3	115.0	5.1	5
	米\$/豪\$(1~12月)		0.906	0.750	△0.156	△17
製錬セグメント 主要製品生産量	カソード亜鉛生産量(千t)		105.3	99.0	△6.3	△6
	鉛電解製品生産量(千t)		88.4	90.0	1.6	2
	銀製品生産量(t)		395	400	5	1
資源セグメント CBH関連(1~12月)	粗鉱処理量(千t)	エンデバー	719	690	△29	△4
		ラスプ	543	564	21	4
		計	1,262	1,254	△8	△1
	亜鉛精鉱生産量(千dmt)	エンデバー	82.2	84.9	2.7	3
		ラスプ	37.9	44.7	6.8	18
		計	120.2	129.7	9.5	8
	鉛精鉱生産量(千dmt)	エンデバー	48.8	40.5	△8.3	△17
		ラスプ	18.2	24.6	6.4	35
		計	67.0	65.1	△1.9	△3

前年度比較(収支)

			2014年度 実績	2015年度 計画	差(実額)	差(%)
収支	売上高(億円)	製錬	813	815	2	0
	営業利益(億円)	資源	189	200	11	6
		電子部材	70	77	7	10
		環境・リサイクル	60	50	△10	△17
		その他	79	98	19	24
		計	1,211	1,240	29	2
		製錬	51	55	4	8
		資源	△16	12	28	-
		電子部材	11	9	△2	△18
		環境・リサイクル	17	13	△4	△24
		その他	7	8	1	14
		計	69	96	27	39
	経常利益(億円)		56	80	24	43
	当期利益(億円)		27	50	23	85

上期·下期比較(収支)

			2015年度 上期	2015年度 下期	差(実額)	差(%)
収支	売上高(億円)	製錬	405	410	5	5 1 0 0 1 3 A 28 2 4 0 0
	営業利益(億円)	資源	100	100	0	0
		電子部材	38	39	1	3
		環境・リサイクル	29	21	△8	△28
		その他	48	50	2	4
		≣†	620	620	0	0
		製錬	24	31	7	29
		資源	△2	14	16	-
		電子部材	4	5	1	25
		環境・リサイクル	7	6	△1	△14
		その他	4	4	0	0
		計	36	60	24	67
	経常利益(億円)		25	55	30	120
	当期利益(億円)		11	39	28	255

3.感応度

	変動幅	変動幅 2014年度試		2015年度試算		増減	
		連結営業利益影響額	内CBH	連結営業利益影響額	内CBH	連結営業利益影響額	内CBH
亜鉛	\$10/t	¥75百万	豪\$500千	¥80百万	豪\$580千	+¥5百万	+豪\$80千
鉛	\$10/t	¥40百万	豪\$360千	¥45百万	豪\$450千	+¥5百万	+豪\$90千
円/米\$	1円/米\$	¥85百万	-	¥100百万	-	+¥15百万	-
米\$/豪\$	1%	豪\$2百万	同左	豪\$2.7百万	同左	+豪\$0.7百万	同左

(参考資料)

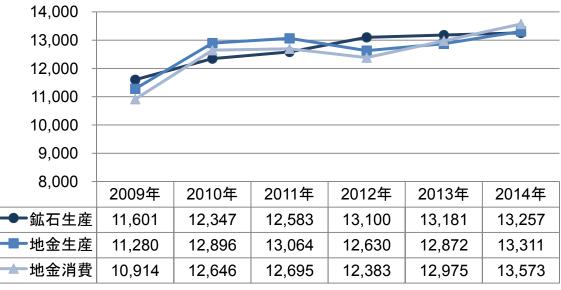
1.世界の亜鉛・鉛の需給推移

出典:国際鉛亜鉛研究会

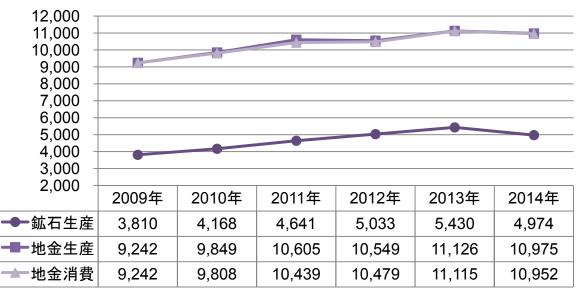
単位: 千t

単位:千t

亜鉛(世界計)

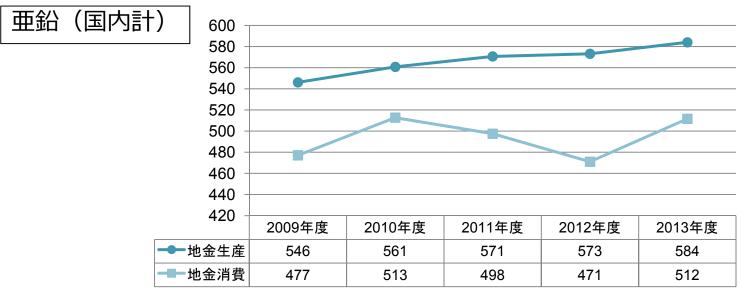


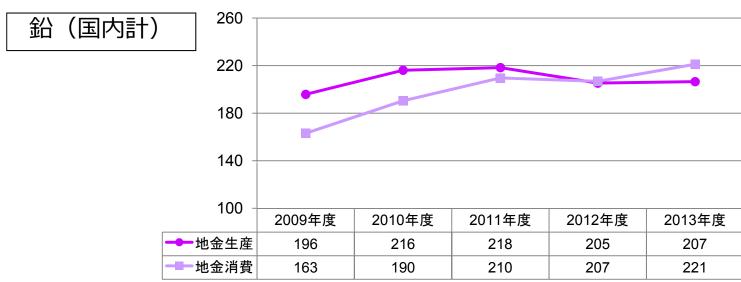
鉛(世界計)



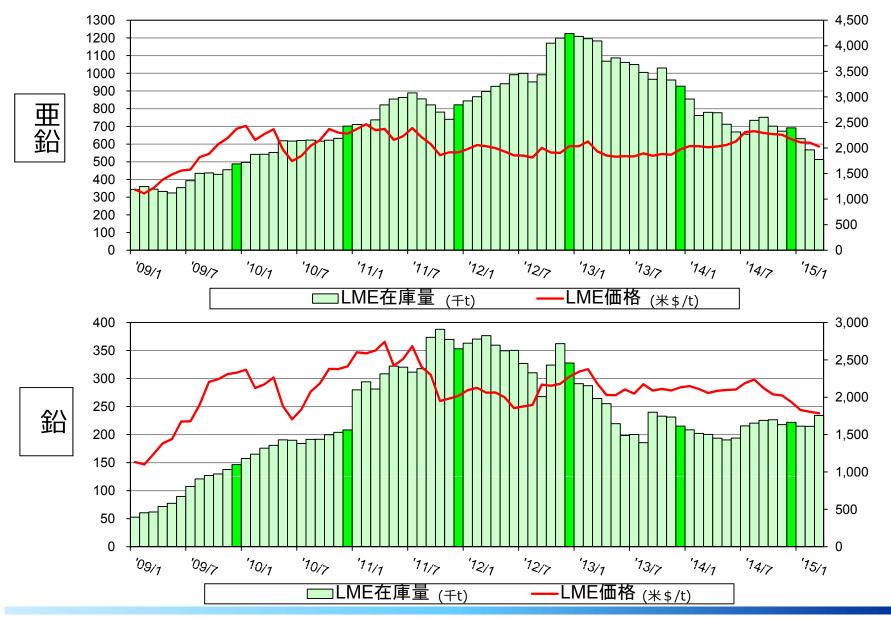
2.国内の亜鉛・鉛の需給推移

出典:経済産業省資源エネルギー庁

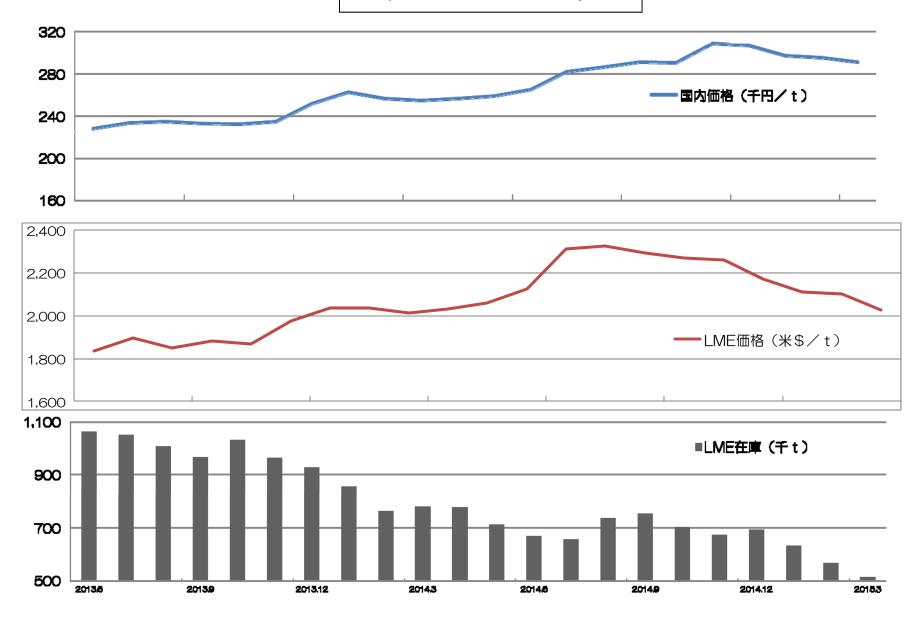




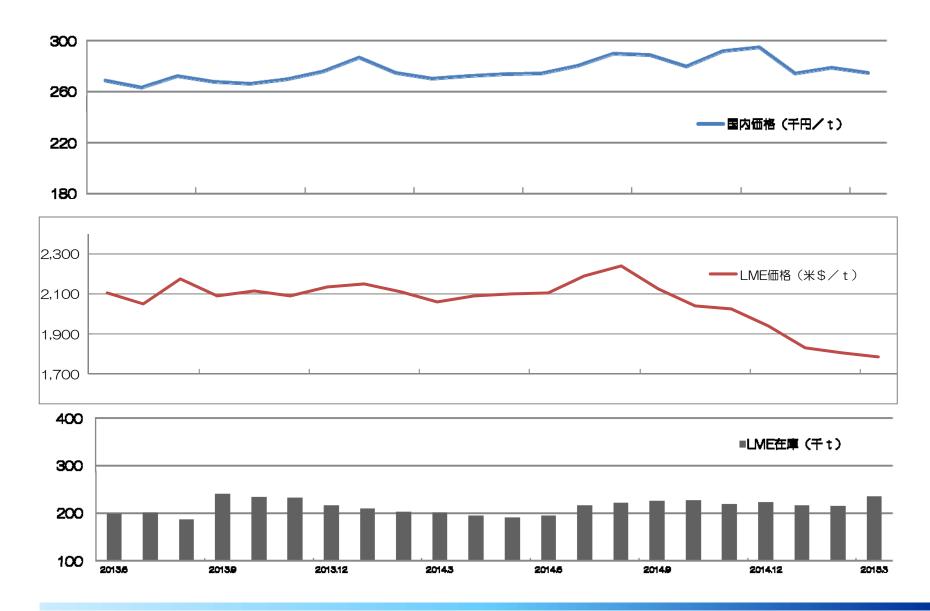
3.メタルの価格と在庫の推移



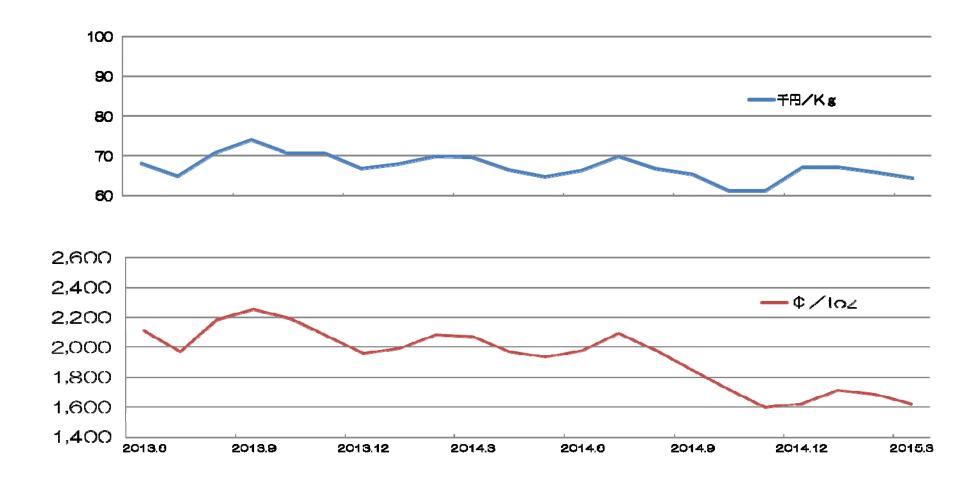
価格・在庫 (亜鉛)



価格・在庫(鉛)

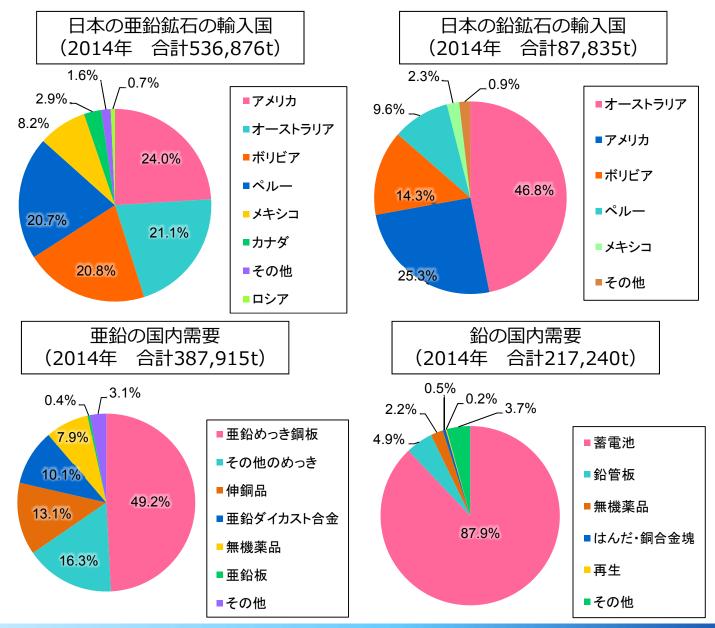


価格(銀)



4.亜鉛・鉛の鉱石輸入と国内需要

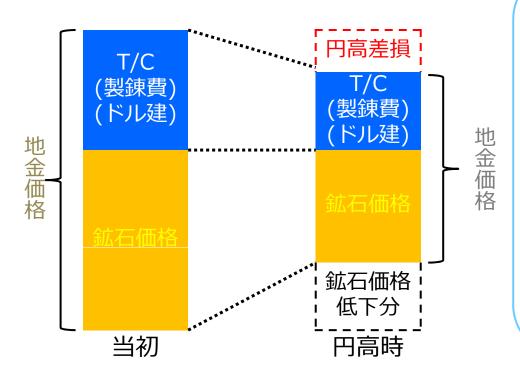
出典:経済産業省資源エネルギー庁



5.製錬事業の収益構造

主な収益要因

- (1) LME (ロンドン金属取引所)
- (2) 為替レート
- (3) T/C (Treatment Charge) (製錬費)
- (4) 採収差量



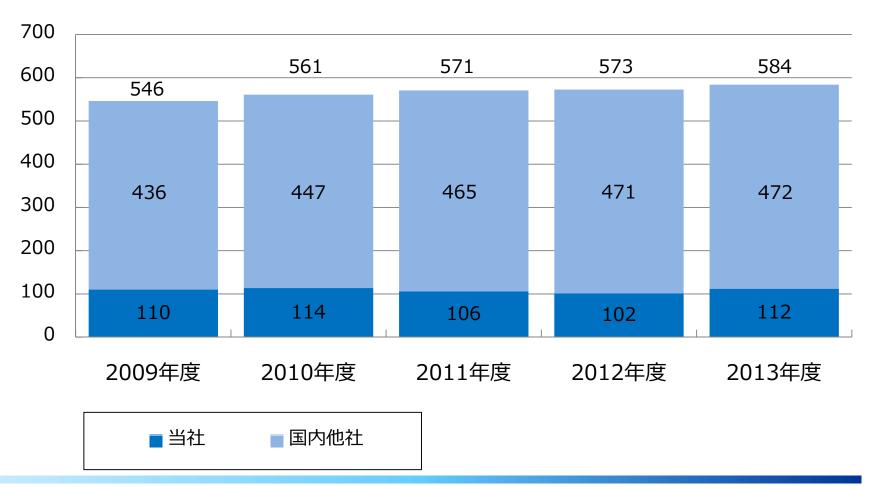
- ●国内価格はLME価格(ドル 建)に連動しているので、 円高になるとその分地金価 格は下落し、 売上高が減少 する。
- ●海外鉱山会社との買鉱交渉 による当社の取り分である 製錬費(T/C)がドル建な ので、円高になるとその分 手取りが減少する。

6.製錬業界における当社の位置

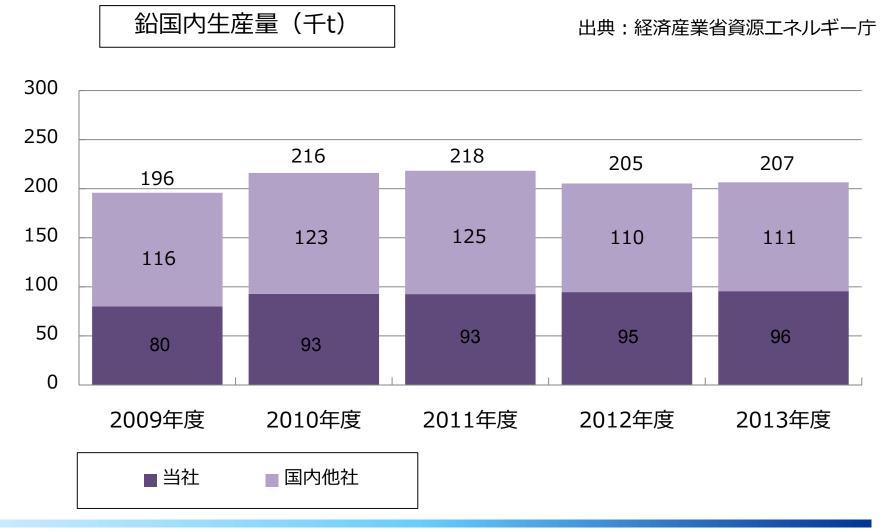
(1)亜鉛

亜鉛国内生産量(千t)

出典:経済産業省資源エネルギー庁



(2)鉛



7.主要製品の用途

主 な 用 途

亜鉛	亜鉛メッキ鋼板、一般メッキ、ダイカスト、伸銅品
鉛	バッテリー、電線、無機薬品、鉛管板
銀	フィルム、はんだ、メッキ
酸化亜鉛	ゴム(タイヤ)、フェライト、触媒
硫酸	化学肥料、合成繊維、化学工業薬品、石油精製
電子部品	産業機器、OA機器、車載電装品、パソコン
電子材料 《プレーティング》 《電解鉄》	接点およびコネクタ (携帯電話、デジタル機器、車載電装品) 特殊合金、超耐熱鋼、磁性材料、触媒

9.主要製品の売上の推移(連結)

上段:数量(t) 下段:金額(百万円)

	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
亜鉛製品	121,704 25,027	127,370 27,283	100,572 19,524	107,578 20,366	115,149 25,478	99,303 27,209
鉛製品	83,741 17,578	94,069 20,901	91,944 19,595	87,884 18,367	90,833 22,942	86,600 22,656
電気銀	308 14,519	347 22,701	342 30,651	353 29,053	363 25,064	401 25,682
硫酸	1,221	1,398	1,468	1,689	1,637	1,537
鉱石販売	-	-	-	11,034	14,085	18,853
電子部品	2,908	3,890	2,974	2,706	2,818	3,096
電子材料	3,761	4,471	4,228	3,890	4,113	3,995
環境・リサイク ル製品	4,309	4,853	2,994	4,350	4,921	5,978
防音建材	1,754	1,874	2,016	1,924	2,253	1,934
完成工事高	3,284	4,279	4,701	2,619	3,324	2,427
その他	9,224	11,974	17,759	7,650	11,978	7,721
合計	83,592	103,628	105,914	103,654	118,619	121,093